

# ようこそ所長室へ

## 開港50年 未来に向けて田子の浦港

明けましておめでとうございます。

旧年11月10日の帆船「日本丸」入港から始った一連の開港50周年記念事業が、関係者の皆様のご支援、そして市民の皆様のご協力により大成功をおさめることが出来ましたこと、深くお礼申し上げます。

産業や物流本位の工業港をイメージしがちな田子の浦港も、平成元年の“港のマスタープラン（港湾計画）”の見直しで新たに加えられた、市民に開かれた「田子の浦港みなとまちづくり」の取組みの成果が着実に現れ、帆船「日本丸」の初寄港招致に繋がったものと喜んでおります。

開港50周年記念事業が、これからの田子の浦港の発展をめざす新たなスタートとなり、既存産業の振興・発展と、地域資源の活用や技術革新による新産業創出により、「新たな産業都市富士市」の将来が開かれることを期待しています。

開港から高度成長期を富士市とともに歩み50年を迎えた田子の浦港は、利用企業や産業の多様化・高度化から本港を取巻く環境が大きく変化しています。

未来に向けて田子の浦港。関係者皆様のご意見ご要望からの将来像を見据え「安全で、使いやすく、親しみのある」みなとづくりを進めたく考えています。

平成29年 正月  
静岡県田子の浦港管理事務所  
うめばら だだし  
所長 梅原 正



中央ふ頭に接岸した「日本丸」と歓迎に来港した「帆船 Ami」



「日本丸」船長室に飾られた『田子の浦港入港記念盾』（当所贈呈）

当港の記念盾は、富嶽三十六景“東海道江尻田子の浦略図”がモチーフです

富士山にいちばん近い、環境にやさしい、エコな港

田子の浦港は、“持続可能な循環型経済活動”を目指す取り組みを支援します。

Port of Tagonoura